

## 試合前後セレモニーについての考え方

(別紙)

以下 JFA リスペクト・フェアプレーからの一部抜粋

日本サッカー協会（JFA）が、試合終了後に選手同士の握手を実施するようになったのは、2003 年度から。国際サッカー連盟（FIFA）が 2003 年 3 月の理事会で「FIFA 主催各種大会の決勝大会で試合後に選手同士握手を行うこと」を決定したことがきっかけだ。

FIFA としては、対戦相手への敬意を選手自身による『握手』で具現化することが狙いだっ  
た。それにより、選手だけでなく観客やファン・サポーターに、「両チームの選手たちが  
試合の結果を受け入れていること」「サッカーが競技規則に従って行われる 1 つのスポー  
ツ競技であること」「試合が終了したこと」を示すことができる。試合終了後の握手は、  
1 つの儀式とも言えるだろう。勝敗にかかわらず、選手が互いの健闘をたたえ合う姿は、  
それを見た観客たちにも同様に、相手チームや相手サポーターにもリスペクトの念を抱か  
せ、それが大きな拍手となってピッチに注がれる。

JFA は、すでに実施していた「試合前の選手同士の握手」に加えて、試合終了後の握手を  
導入し、JFA が掲げるサッカー行動規範の具体的な表現の一つとして普及させてきた。

# 静岡県サッカー協会西部支部 4 種委員会浜松地区における 試合前（後）のセレモニーの実施方法について

別紙「試合前セレモニーについての考え方」記載のような考えで JFA の各種大会において試合前（後）セレモニーとして握手を行っている。

コロナ感染防止対策としてここ数年は握手を控えてきましたが、コロナ感染症が 5 類移行に伴い、JFA としても規制を撤廃し、以前のようなセレモニーが復活してきたところです。

静岡県サッカー協会西部支部 4 種委員会浜松地区においても、今後次のような方法でセレモニーを進めることにします。

## セレモニー基本手順

### 試合前

- 1, 試合前審判、及び両チーム先発選手がピッチ内入場し、センターサークル付近でタッチラインに平行に並ぶ。
- 2, 審判のホイッスルで前後へ会釈をする。
- 3, アウェイチーム側（本部に向かい左側チーム）から審判、相手チームへと握手をする。
- 4, ホームチーム側（本部に向かい右側チーム）が審判と握手をする。

### 試合終了後

- 1, 試合終了後審判、及び両チーム出場選手はセンターサークル付近でタッチラインと平行に並ぶ。
- 2, 2~4 については試合前と同一とする。

以上の方法を基本としますが、未だコロナ感染症が無くなったわけではなく、握手に対する抵抗感も持っている個人もあるものと思いますので、以下のような対応をしてください。

■浜松地区内大会においては当分の間試合前当該チーム、審判の判断でセレモニーにおいて握手を控えることも可とします。

■試合ごとに方法が違うこともあります。審判、当該チームは試合前確認をして方法を決定してください。

■運営本部においても上記方法を理解して進めてください。

なお、浜松地区以外の主催、主管大会においてはこの限りではありませんので、注意してください。